

平成28年度こうちふるさと寄附金活用事業(実績)

◇ 平成27年度に頂きました1,204件、35,038,184円のご寄附は、下記の平成28年度の事業(4分野12事業)に活用させていただきました。 ※基金の運用益等も活用しているため、平成27年度の寄附額とは一致しません。

<分野1 こうちの「山」「川」「海」の環境を守り育てる>

○清流保全計画指標モニタリング事業(586千円)

物部川と仁淀川の本流及び支流において水質調査を実施し、清流保全の取り組みの達成状況を把握するための指標の収集を行いました。また、より人の感覚に近い水生生物等の指標による評価手法等は、流域の小中学校での環境学習会に役立てています。

○清流基準モニタリング事業(532千円)

四万十川の清流保全のためのモニタリング調査を実施しました。四万十川流域の住民の方々に調査へご協力いただくことにより、清流を守ろうとする意識啓発につながりました。

○豊かな環境づくり総合支援事業(4,847千円)

NPO等が取り組む地球温暖化対策の啓発や河川の環境保全、環境学習などの活動を支援しました。採択した事業の参加者(地域住民、学生等)の環境に対する関心が高まりました。

○環境活動支援センター事業(5,919千円)

小学生を対象とした環境絵日記コンテストの実施や地球温暖化防止に向けた普及啓発活動など、県民の環境活動や環境学習に対する支援を行うことにより、環境に対する意識を高める機会づくりなどにつながりました。



<分野2 ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる>

○ふるさと教育推進事業(1,767千円)

郷土の偉人や歴史などの学習、お遍路さんへのおもてなし活動への支援などを行いました。郷土の歴史への理解を深めることにより、郷土への関心・愛着心を高め、郷土の魅力の再発見につながりました。

○全日制高等学校運営費(351千円)

中村高等学校の楽器を新たに購入しました。学校内の行事に留まらず、選抜甲子園での応援や地域の演奏会などでも頼りにされている同校の楽器が更新されたことにより、音楽部の生徒の意欲向上や積極的な取り組みなどにつながりました。

○豊かな心を育む教育推進費(916千円)

キャリア教育の視点を取り入れた授業の指導計画の充実及び教員の授業力・実践力の向上につなげることができるキャリアシートを作成しました。

次年度は、キャリアシートの活用を推進し、子どもたちの夢や志をかなえる力を育てていきます。

○土佐藩主山内家墓所保存活用費(5,780千円)

土佐藩主山内家墓所の整備の支障となる枯れ木の伐採・除去を行うとともに、藩主子供墓域石造物調査を行いました。墓標等への倒木による被害を未然に防ぐとともに、調査によって保全活動と管理体制を作るための基礎資料の整備を進めることができました。



<分野3 龍馬がふるさと「高知」を盛り上げる>

○博覧会推進事業(2,069千円)

平成29年3月から始まった「志国高知 幕末維新博」の開催準備を行うとともに、県内外からの観光客の誘致に取り組みました。観光客の県内全域での周遊を促進し、県内各地の観光地の賑わいの創出などにつながりました。



<分野4 元気あふれるこうちをつくる>

○産業人材育成事業(5,360千円)

高知県が実施する「土佐まるごとビジネスアカデミー」の実践編のビジネス研修を行いました。高知県内で事業を営む経営者や起業をお考えの方20名が受講し、起業に向けての一步を踏み出すきっかけづくりができました。

○地域産品販売促進事業(4,980千円)

高知県を代表する商品をコンクール方式で選ぶ「高知家のうまいもの大賞2017」を実施しました。受賞商品は多くのメディアに取り上げられたほか、県内外の展示会での展示を通じて、県外・国外の多くのバイヤーにPRができました。



○捕獲対策事業(2,000千円)

県内で捕獲されたシカやイノシシを地域資源として有効活用するため、調理・加工に関する研究会や講習会、消費拡大キャンペーンを実施しました。

多くの県民の皆様にごジエの魅力を伝えることができたほか、中山間地域等でのシカやイノシシなどによる被害や捕獲した後の有効活用の取り組みについて理解を深めることができました。

